

研究課題名：開腹膀胱全摘術とロボット支援下膀胱全摘除術の術後経過の比較による
術後ストーマセルフケア支援の実態と課題

1. 研究の対象

2017年4月～2020年3月までに開腹膀胱全摘術を受けられた方

2020年4月～2023年3月までにロボット支援膀胱全摘術を受けられた方

2. 研究目的・方法

- ・開腹膀胱全摘術、ロボット支援下膀胱全摘除術の術後経過を比較し、ストーマセルフケア支援に関する相違点を明らかにする。
- ・ロボット支援下膀胱全摘除術後のストーマセルフケア支援の課題を明らかにしてケアの質の向上につなげる。

開腹膀胱全摘術およびロボット支援下膀胱全摘術を受けた患者それぞれに対し診療記録より情報を収集し比較する。

3. 研究期間

宮城県立がんセンター倫理審査委員会の倫理審査承認後から2024年11月まで

4. 研究開始の予定日（研究のために情報を利用開始する予定日）

2024年4月27日

5. 研究に用いる試料・情報の項目

- (1) 患者に関する情報(患者の属性):性別、年齢、ストーマケア実施者、社会資源の活用 等
- (2) 手術に関する情報:手術時間、出血量(輸血使用の有無)、術後合併症の有無、食事再開の時期(術後何病日目から)、手術後から退院までに要した日数 等
- (3) 尿路ストーマに関する情報:セルフケア介入開始日、手技習得までの期間、術後装具使用回数、社会復帰用装具決定までの期間、尿管カテーテル抜去までの期間、装具交換回数、装具トラブルの有無と回数、社会復帰用装具変更回数、ストーマ早期合併症の有無、アクセサリー使用の有無 等

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当

〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1

TEL 022-384-3151（代表）（内線 974）

研究責任者：

宮城県立がんセンター 3階西病棟 服部知江